

議会運営委員会 送付2-11

千代田区議会議員の定数削減ならびに報酬削減、政務活動費の削減を求める

受付年月日 令和2年9月10日

陳情者 提出者 1名

署名者 318名

陳情書入力フォーム(法人・団体用)

陳情書

2020年9月10日

千代田区議会議員

小林たかや

様

件名 千代田区議会議員の定数削減ならびに報酬削減、政務活動費の削減を求める

陳情法人・団体名

代表者 氏名

318

名)

住所①(法人、その他の団体にあつては事務所又は事業所の所在地)

〒

住所②(陳情代表者の住民登録地)

〒

電話

理由

大企業を抱える千代田区は、昼間人口のためにも多くの財源を投入しています。こうした中、新しい住民の増加と共に住民のニーズも多様化してきています。限られた財源の中で住民の要求に的確に対応していくためには、議会はしっかりと行政をチェックしなければなりません。執行機関と議決機関は車の両輪とよくいわれます。両輪が機能してこそ車はスムーズに走ります。それが現在は、コロナ禍にあつて、議会は区を支えるどころか、区政を混乱させるばかりであり、議員の報酬も今年アップされました。報酬額は23区内でトップクラスです。報酬の他、月に議員1人15万円(年間180万円)を会派に前払いされる政務活動費の使い方を区民から訴訟を起こされ、裁判所から返金命令の判決を受けました。行政運営の実践部隊である、職員の意識改革はもとより、区民が安心して安全に住み暮らしていくためには、議員の資質の向上も求められます。千代田区は物価や土地が高いから報酬も高いのは当たり前という議員がいますが、我々区民は「生活費」を心配する議員より「区民」「千代田区」を心配する議員を選びます。少数精鋭主義こそが切磋琢磨して議員自身を変革させます。定数削減に伴い経費の削減は必然的になりますが、なによりも議会運営面でも十分相乗効果をもたらすものと確信し、ここに千代田区議会議員の定数・報酬・政務活動費の削減を求めるものです。

(20%削減)

定数25名→20名、-5名。

- (注意) ※ 1 [] を入力してください
※ 2 氏名は自署か記名押印してください
※ 3 陳情者が複数の時は、署名簿を添付してください

